

ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市会議員

NO.1115

16.8.16

高校野球やオリンピック...

今年は大しほりに甲子園にと思いたが、デブ症ゆえに行かないまま、市立和歌山高校は2回戦で宮崎の日本学園に3-0で逆転負けという悔しい結果に。リオ五輪ではテニスの錦織選手が、あのナダルに勝ち銅メダル。日本選手がテニスでメダルを取ったのは06年ぶりという事にもビックリです。

「回ったよ、作って遊んだ工作教室」

8月9日(火) 地場産業振興センターで、日本共産党市南ブロック後援会は、「森教二先生の夏休みマジック・工作教室」を開き、定員30名の会場は、子ども

17名と保護者・後援会世話人15名で、いっぱいになりました。刺り等にカラー針金を巻き付け、それをこする事で振動が伝わり、先に取

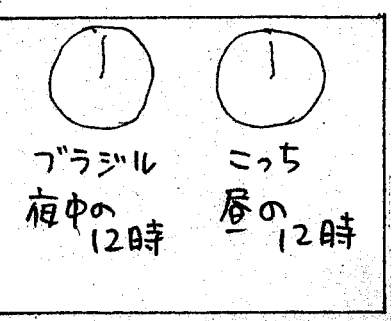
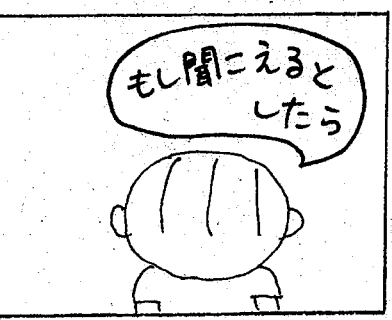


説明に集中する子どもたち!!

付けた羽が回り出すおもちゃ。振り回せば賑やかに鳴き出すセミは、松ヤニとりリアン系の特性を生かして小さなプラスチックケースを利用した作品。などなど、種類の工作を森先生の指導で作ることができ、子どもたちは、さっ、そく、この場で遊んでいました。ゼリゼリに破った新聞紙が、かけ声一つで元の新聞

フリーの人々

<898>



紙に戻るマジックや不思議なトランプのマジックなども披露され、お母さんや赤ちゃん、導ちゃんも一緒に楽しんでた2時間半の教室でした。

今週のフリーの人々 (その61)

五輪のメダルのこと

ブラジルのリオ五輪、テレビ放映を何となく適当に見ています。「ブラジルの人、聞えますかー?」関西のお笑いコンビ・サバンナのハムセンのギャグですが日本の反対側にあるブラジルの時差は12時間。こちらが朝8時なら向こうは夜の8時なんですね。前回のロンドンの時も、そんなふうな時計を見ていたこと思い出します。

昨年に続き、今年も同日の企画。参加者からは来年も頼みますと大好評です。森先生ありがたうございませした。(日本共産党市南ブロック後援会・山形由廣)

オリンピックを見て

毎回思うのは、メダルの獲得数の数え方。団体競技で1個と数えるのが納得できません。体操団体は5人で5個。バレーボールは6人、サッカーは11人+出場した控え選手数くらいは数えてほしい。一人で何個も獲得できる水泳や体操、陸上でのバランスが悪すぎる。など、テレビ画面に1人1文句を言うのもオリンピック恒例の行事です。



ひめだ高宏

日台交流サミット 和歌山市

9月4日(日)～5日(月)「日台交流サミット」和歌山市が開かれます。日台友好サミット市議会議員連盟を中心に実行委員会が、①和歌山の友好・親善、文化交流を通じ、人的交流を深め、日台間における真の友好関係を構築し、全国に広め継続していくこと、台湾との信頼関係をより強固たすものとす。②全国の

日台友好地方議員を中心に関係団体等に参加を促し、本市のPRや相互交流を通じて友情を深める。③歴史、地理、文化の絆を生かし、観光、教育、貿易などの文化・経済交流を深め日台間の国民相互の友情を深め、次世代に受け継いでいく。④の3点を目的に取り組みます。ぜひ、ご参加ください。日程は下表のとおり。

台湾の夕べ 台湾映画の上映 第2弾
9月1日(木) 19時～21時 (入場無料)
和歌山の浦アートキューブ
映画「響え聲、さくらんぼ」 台湾文壇の詩人たち

わかやま「夜市」 台湾文化を「夜市」で
9月4日(日) 15時～22時
七曲市場(東長町)
台湾の夜市を再現 台湾の食と物品を販売

一青妙 ひととたえ 講演会 (入場無料)
9月5日(月) 10時～11時30分
市民会館小ホール
整理券お持ちください
歯科医でエッセイスト・中島「新しい台湾を見よう！」

日本共産党

許せない伊方原発再稼働
四国の西の端から細長く突き出た愛媛県の佐田岬半島。その付け根付近に位置する四国電力の伊方原発3号機の再稼働が進行されました。国内の

原発では唯一稼働中の鹿児島島の九州電力に内原発1、2号機に並ぶものです。いったん再稼働した福井県の関西電力高浜原発3、4号機は、その後裁判所の差し止め決定で運転を中止しています。

原発はもともと未完成の技術で、東京電力福島原発事故が証明したように、事故が証明したように、事故が起きればコントロールできません。しかも伊方原発は、ウランを燃料にする通常の原発と異なり、使用済み核燃料から取り出した猛毒のプルトニウムをウランと混ぜて燃やすプルサーマルの原発です。住民の不安を踏みにじった再稼働は、絶対に許されません。

潮流

16.8.14日刊 住民を暴力で排除して建設を進めよう
東部ノースカロライナ州の海兵隊基地キャンプ・レジーナを拠点とする第2海兵連隊第2大隊。別の米軍ニュース(7月2日付)で同大隊の大尉は、この演習を「われわれの破壊力を維持する上で重要」と語り、同時に強調したのは、来年の部隊派遣の「準備になる」ということ。第2海兵連隊広報に問い合わせると、アフリカ各地への展開を任務とする部隊に派遣される予定だと認めました。

日付(が伝えたのは、海兵隊普天間基地)沖縄県宜野湾市(のオスプレイが加わった)長距離飛行場奪取演習です。演習があったのは7月30日。オスプレイは空軍の特殊作戦機とともに海兵隊員と海兵隊岩国基地(山口県岩国市)で搭載したとみられます。そこから沖縄の伊江島にある米軍施設を「敵の飛行場」にみたて急襲しました。襲いかかった海兵隊員たちは、米南東部ノースカロライナ州の海兵隊基地キャンプ・レジーナを拠点とする第2海兵連隊第2大隊。別の米軍ニュース(7月2日付)で同大隊の大尉は、この演習を「われわれの破壊力を維持する上で重要」と語り、同時に強調したのは、来年の部隊派遣の「準備になる」ということ。第2海兵連隊広報に問い合わせると、アフリカ各地への展開を任務とする部隊に派遣される予定だと認めました。政府は沖縄の海兵隊を「抑止力だ」といいます。しかし海兵隊が実際にやっているのは、日本防衛どころか地球規模で殴り込む能力の強化です。それを支える基地の建設を強権で押し付けよう。こんな暴走を許すわけにはいきません。

旗 日刊紙
3.4.9.7.月